

国立能楽堂

六月

月間特集
日本人と自然花鳥風月

June 2021
National Noh Theatre



【定例公演】6月2日(水)午後1時開演

狂言 花盗人 山本東次郎 (天威流)

能 吉野天人 山階彌右衛門 (観世流)

【普及公演】6月12日(土)午後1時開演

能・狂言の鳥 竹本 幹夫 (早稲田大学名誉教授)

狂言 千鳥 善竹 忠重 (天威流)

能 善知鳥 金井 雄資 (宝生流)

【定例公演】6月18日(金)午後5時30分開演

狂言 箕被 大藏彌右衛門 (天威流)

能 松風 狩野 了一 (喜多流)

【能楽鑑賞教室】

6月21日(月)～25日(金)午前11時～午後2時開演
解説 能楽のたのしみ 和久荘太郎 他

狂言 寝音曲 深田 博治 他 (和泉流)

能 殺生石 高橋 巨他 (宝生流)

予約開始
5月8日(土) 午前10時～
窓口販売開始=5月9日(日)
(チケット売場 午前10時～午後6時)
※窓口販売用に別枠でのお取り扱いは
ございません。

【電話】国立劇場チケットセンター (午前10時～午後6時)

0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]

【インターネット】 国立劇場チケットセンター

チケットぴあ 0570-02-9999 <https://t.pia.jp/> e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

能楽鑑賞教室は学生・生徒の団体鑑賞を目的とした公演ですので、席をお取りできない場合がございます。あらかじめご了承ください。
※全公演字幕付です(日本語・英語)。聴覚障害者の方は2割引です。車椅子などの詳細についてはチケットセンターまでお問い合わせください。
※出演者などの変更の場合はご了承ください。新型コロナウイルス感染症予防への対応に、ご理解とご協力をお願いいたします。詳細はホームページをご覧ください。

入場料金
(定例・普及公演) 正面 ¥5,000・脇正面 ¥3,300・中正面 ¥3,000
学生: 脇正面 ¥2,300・中正面 ¥2,100
(能楽鑑賞教室) 正面 ¥3,200・脇正面 ¥2,700・中正面 ¥2,200
学生(全席) ¥1,400

National Noh Theatre June 2021 Noh/Kyogen Performances: June 2 (Wed.) 1 pm, June 12 (Sat.) 1 pm,
June 18 (Fri.) 5:30 pm, June 21-25 (Mon.-Fri.) 11 am / 2 pm
Tickets: ¥2,200-¥5,000 On Sale: May 8 (Sat.) 10 am National Theatre Ticket Centre +81-3-3230-3000 (10:00-18:00 [JST])
https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_c.htm Individual subtitle monitors are available in both English and Japanese.



JR(中央・総武線)千駄ヶ谷駅(エレベーター・エスカレーターあり)下車・徒歩5分 都営地下鉄(大江戸線)国立競技場駅下車A4出口
(エスカレーターあり)・徒歩5分 東京外環(副都心線)北参道駅下車 出口1(エレベーター・エスカレーターあり)または2(エスカレーターあり)・徒歩7分
都バス81(渋谷・皇正門)7877(目黒・千駄ヶ谷駅前)千駄ヶ谷駅前下車・徒歩5分 ハチ公バス神宮の杜ルート国立能楽堂下車すぐ
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 TEL.03-3423-1331(代) <https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>



定例公演

6月2日(水) 午後1時開演

狂言【大蔵流】

花盗人

シテ/三位
アド/何某
立兼/花見客
立兼/花見客
立兼/花見客
立兼/花見客
立兼/花見客
立兼/花見客
立兼/花見客
山 山 山 山 山 山 山
本 本 本 本 本 本 本
東次郎 泰太郎 則秀 則俊 則一 則孝 則孝

吉野天人

能【観世流】

よし の てん じん
天人揃
後シテ/天人
ツレ/天人
ツレ/天人
ツレ/天人
ツレ/天人
ツレ/天人
ワキ/都の者
ワキ/同行者
ワキ/同行者
アイ/里人
小鼓
大鼓
太鼓
後見
観世三郎 山上 中田 谷芳 福光 駒幸 噌弘 本口 口久 月田 本祥 林文 武宗 武典 山階 彌右衛門
観世三郎 山上 中田 谷芳 福光 駒幸 噌弘 本口 口久 月田 本祥 林文 武宗 武典 山階 彌右衛門
坂口 貴信 藤波 重彦 浅見 重好
清水 義也 藤波 重孝

普及公演

6月12日(土) 午後1時開演

能・狂言の鳥

竹本幹夫

千鳥

シテ/太郎冠者
アド/主
アド/酒屋
善竹忠重 大藏教義 善竹忠亮

善知鳥

能【宝生流】
後シテ/猿師の靈
ツレ/猿師の妻
子方/千代童
ワキ/旅僧
アイ/浦人
小鼓
大鼓
後見
金井雄資 高橋憲正 野口俊太郎 善竹十郎 槻宅聡 曾和鼓堂 柿原弘和 宝生和英 小倉健太郎 金森隆晋 水上優 佐野弘宜 朝倉俊樹 當山淳司 大友順 亀井雄二 和久莊太郎

定例公演

6月18日(金) 午後5時30分開演

狂言【大蔵流】

箕被

大藏彌右衛門

松風

シテ/松風
ツレ/村雨
ワキ/旅僧
アイ/須磨の浦人
大藏基誠 森常好 内田成信 狩野了一

能【喜多流】
シテ/男
アド/妻
大藏彌太郎
大藏彌太郎
佐藤寛泰 金子敬一郎 大島輝久 粟谷明生 粟谷充雄 出雲康雅 塩津圭介 長島茂

能楽鑑賞教室

6月21日(月)〜25日(金)

能楽のたのしみ

和久 莊太郎

寝音曲

狂言【和泉流】
21日 深田博治
22日 高野和憲
23日 三宅右矩
24日 三宅近成
25日 高澤祐介

能【宝生流】
21日午前・23日午前 小倉健太郎
21日午後・24日午前 山内崇生
22日午前・24日午後 野月崇聡
22日午後・25日午前 大友順
23日午後・25日午後 高橋亘

【月間特集 日本人と自然 花鳥風月】
国立能楽堂では文化の祭典「日本博」の総合テーマ「日本人と自然」に合わせ、4月から3カ月の間、「日本人と自然」をテーマに作品を特集しています。6月は「花鳥風月」と題して、日本の美しい自然の風景を題材とした演目を中心に取り上げます。なお、昨年中止となりました公演を、一部変更して開催いたします。

花盗人 桜の花を折った盗人を捕まえてみると、漢詩や和歌を口ずさむ教養のある人物でした。風雅なやりとりや酒宴の場が楽しい曲です。

桜満開の吉野に舞い下りる天人
吉野天人 吉野山を訪れた花見の衆が出てきた美しい女性性は、吉野の桜に心引かれて舞い下りた天人でした。満開の桜の中、大勢の天人が花に戯れ舞い遊びます。

千鳥 つげがたまり、酒を売ってもらえない太郎冠者。話好きな酒屋の隙を見て酒を奪おうと津島祭の話を始めます。

善知鳥 陸奥外ヶ浜の狐師は生前に犯した殺生のため地獄に墮ち、化鳥に責め立てられ苦しみます。生業に対する報いを描く、今日なお鋭いメッセージを投げかける物語です。

箕被 連歌にばかり熱中する夫に愛想を尽かし、妻は家を出て行くこととします。その時夫が別れの印にと箕を差し出し、歌を詠みかけると...

形見の烏帽子・狩衣を手に
松風 月照の須磨の浦、汐汲車を引く二人の海女乙女は、かつて在原行平に愛された松風・村雨姉妹の霊でした。懐旧と恋慕が交差する夢幻能の名作です。

【能楽鑑賞教室】
寝音曲 主人に謡を謡うよう命じられた太郎冠者は、酒や膝枕がないと謡えないと嘘をついてその場を免れようとします。若より飛び出る野干の精

殺生石 近づく者を殺してしまおうという那須野の殺生石。その正体はインド・中国・日本と三国に悪事をなした伝説の野干(妖狐)の精でした。迫力ある野干退治の場面が再現されます。